

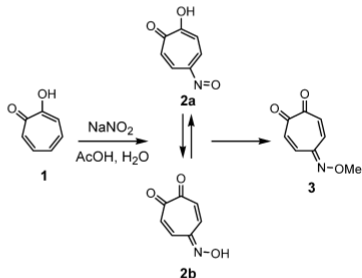
# 26PW-pm167

## 5-ニトロソトロポロンの構造について

○伊藤 愛<sup>1</sup>, 宇都宮 岩生<sup>1</sup>, 影近 弘之<sup>2</sup>, 村竹 英昭<sup>1</sup>, 首藤 紘一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>財)乙卯研,  
<sup>2</sup>東京医歯大院疾患生命研)

【目的】トロポロン(**1**)はフェノールと安息香酸に類似した化学的性質を併せ持つ興味ある芳香族化合物である。**1**の亜硝酸ナトリウム処理で得られる**2**が、その極限構造として考えるニトロソ体(**2a**)とオキシム体(**2b**)のいずれの構造で存在するかについて古くから論議されてきた。UV スペクトルの解析により溶液中では主として**2a**型で存在することが示唆<sup>1)</sup>されているが、今回その真否を確認すべく検討を行った。

【方法・結果】これまでに**2**のメチル化成績体は得られていない。<sup>2)</sup>今回、条件を検討しメチル体(**3**)を合成することが出来た。**3**の構造は、NMR 及び X 線結晶解析の結果からオキシム型であることが判明した。この結果をもとに**2**の溶液中における構造について NMR 及び UV スペクトルを用い検討した。本発表では**2**の構造につき詳細に報告する。



- 1) 大有機化学, 第 13 卷, 9 (朝倉書店, 昭和 40 年).
- 2) T. Asao *et al.*, *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **63**, 3089-3095 (1990).